

豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2023年4月25日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&Dマネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

運用報告書(全体版)(第17作成期)


第95期(2020年8月25日) 第98期(2020年11月25日)
第96期(2020年9月25日) 第99期(2020年12月25日)
第97期(2020年10月26日) 第100期(2021年1月25日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2021年1月25日に第100期決算を行いましたので、第95期から第100期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ト トラース II (ケイマン) 豪州高配当株・ ツインαファンド 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率						
第13 作成 期	71期 (2018年8月27日)	円 2,805	円 70	% 1.1	% —	% —	% 99.2	% 99.2	百万円 7,977
	72期 (2018年9月25日)	2,676	70	△ 2.1	—	—	99.0	99.0	7,631
	73期 (2018年10月25日)	2,528	50	△ 3.7	—	—	99.0	99.0	7,215
	74期 (2018年11月26日)	2,465	50	△ 0.5	—	—	99.4	99.4	6,875
	75期 (2018年12月25日)	2,249	50	△ 6.7	—	—	99.1	99.1	6,059
	76期 (2019年1月25日)	2,326	50	5.6	—	—	98.8	98.8	6,228
第14 作成 期	77期 (2019年2月25日)	2,337	50	2.6	—	—	99.0	99.0	6,346
	78期 (2019年3月25日)	2,276	50	△ 0.5	—	—	98.9	98.9	6,187
	79期 (2019年4月25日)	2,300	50	3.3	—	—	97.8	97.8	6,150
	80期 (2019年5月27日)	2,231	50	△ 0.8	—	—	99.0	99.0	6,020
	81期 (2019年6月25日)	2,190	50	0.4	—	—	98.8	98.8	5,804
	82期 (2019年7月25日)	2,195	50	2.5	—	—	99.0	99.0	5,764
第15 作成 期	83期 (2019年8月26日)	2,038	50	△ 4.9	—	—	99.1	99.1	5,324
	84期 (2019年9月25日)	2,091	35	4.3	—	—	99.0	99.0	5,439
	85期 (2019年10月25日)	2,077	35	1.0	—	—	99.3	99.3	5,269
	86期 (2019年11月25日)	2,020	35	△ 1.1	—	—	99.1	99.1	5,022
	87期 (2019年12月25日)	2,033	35	2.4	—	—	99.4	99.4	4,920
	88期 (2020年1月27日)	2,009	35	0.5	—	—	99.3	99.3	4,808
第16 作成 期	89期 (2020年2月25日)	1,973	35	△ 0.0	—	—	99.2	99.2	4,708
	90期 (2020年3月25日)	1,131	35	△40.9	—	—	98.7	98.7	2,637
	91期 (2020年4月27日)	1,275	35	15.8	—	—	99.0	99.0	2,972
	92期 (2020年5月25日)	1,326	35	6.7	—	—	99.0	99.0	3,098
	93期 (2020年6月25日)	1,324	35	2.5	—	—	98.9	98.9	3,211
	94期 (2020年7月27日)	1,320	35	2.3	—	—	98.9	98.9	3,228
第17 作成 期	95期 (2020年8月25日)	1,313	35	2.1	—	—	98.7	98.7	3,170
	96期 (2020年9月25日)	1,219	35	△ 4.5	—	—	98.9	98.9	2,901
	97期 (2020年10月26日)	1,270	25	6.2	—	—	99.1	99.1	3,010
	98期 (2020年11月25日)	1,364	25	9.4	—	—	99.0	99.0	3,070
	99期 (2020年12月25日)	1,346	25	0.5	—	—	98.9	98.9	2,947
	100期 (2021年1月25日)	1,366	25	3.3	—	—	98.8	98.8	2,998

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第95期	期 首 (前期末) 2020年 7 月 27 日	1,320	—	—	—	98.9
	7 月 末	1,306	△1.1	—	—	98.5
	期 末 2020年 8 月 25 日	1,348	2.1	—	—	98.7
第96期	期 首 (前期末) 2020年 8 月 25 日	1,313	—	—	—	98.7
	8 月 末	1,328	1.1	—	—	99.1
	期 末 2020年 9 月 25 日	1,254	△4.5	—	—	98.9
第97期	期 首 (前期末) 2020年 9 月 25 日	1,219	—	—	—	98.9
	9 月 末	1,253	2.8	—	—	99.2
	期 末 2020年10月26日	1,295	6.2	—	—	99.1
第98期	期 首 (前期末) 2020年10月26日	1,270	—	—	—	99.1
	10 月 末	1,221	△3.9	—	—	98.9
	期 末 2020年11月25日	1,389	9.4	—	—	99.0
第99期	期 首 (前期末) 2020年11月25日	1,364	—	—	—	99.0
	11 月 末	1,381	1.2	—	—	98.9
	期 末 2020年12月25日	1,371	0.5	—	—	98.9
第100期	期 首 (前期末) 2020年12月25日	1,346	—	—	—	98.9
	12 月 末	1,359	1.0	—	—	98.7
	期 末 2021年 1 月 25 日	1,391	3.3	—	—	98.8

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

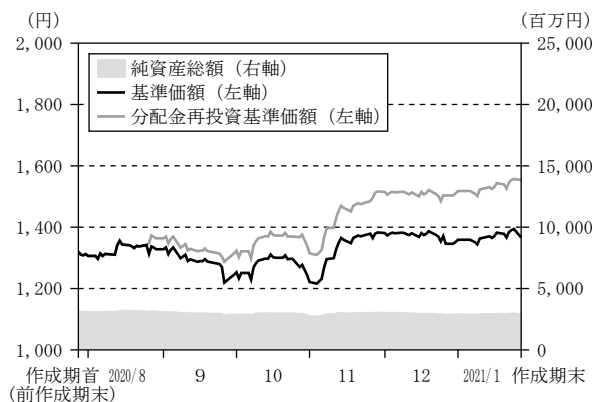
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第95期首：1,320円

第100期末：1,366円（既払分配金170円）

騰落率：17.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年7月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、保有しているオーストラリア高配当株式の価格上昇などがプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 投資環境

【オーストラリア株式市況】

オーストラリア株式市場は上昇しました。作成期初から2020年10月初めにかけては、4－6月期の豪GDP成長率が予想を下回ったことや、主要輸出品である鉄鉱石の価格の下落などを受けて株価は下落基調で推移しました。その後、企業の景況感や消費者信頼感の改善を示す経済指標や豪政府による景気支援策への期待が株価を押し上げる場面もありましたが、欧米において新型コロナウイルスの感染が急速に拡大し経済活動自粛の動きが広がったことなどから投資家のリスク回避姿勢が強まり、株価は下落に転じました。11月上旬には、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引下げと追加緩和策を決定したことや、新型コロナウイルスワクチンの早期実用化への期待が株価を押し上げ、ワクチンの普及による経済活動正常化が意識されるなか11月終盤にかけて株価は大幅に上昇しました。その後は、7－9月期の豪GDP成長率が予想を上回ったこと、米国で追加経済対策案が成立したこと、EU（欧州連合）と英国の通商交渉が合意に達したことなどが株価の上昇につながった一方、新型コロナウイルスの世界的な感染再拡大が続くなかニューサウスウェールズ州の一部地域でもロックダウン（都市封鎖）が導入されたことや、英国でウイルスの変異種が確認されたことなどが投資家のリスク回避姿勢を強め、株価は方向感のない展開となりました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト （ケイマン）II－豪州高配当株・ツインαファンド	18.8%
T&Dマネーブルマザーファンド	△ 0.0

【為替市況】

豪ドルは対円で上昇しました。作成期初から2020年9月初めにかけては、中国における需要の拡大を背景にオーストラリアの主要輸出品である鉄鉱石をはじめ国際商品価格が上昇したことや、7月の豪雇用統計が良好であったことなどを受けて、豪ドルは円に対し上昇しました。オーストラリアの一部の州で新型コロナウイルスの感染拡大に落ち着きが見られるなか早期に経済活動が再開されるとの見方が広がったことも豪ドルの買い安心感につながりました。その後は、サウジアラビアの原油販売価格引下げ等を背景とした原油先物価格の下落を受けて資源国通貨が売られる展開となったこと、RBAによる追加緩和観測が強まったことなどから、10月終盤にかけて豪ドル安円高基調で推移しました。11月に入ると、10月の豪住宅価格指数が半年ぶりの上昇となったことや9月の豪住宅建設許可件数が市場予想を大幅に上回る伸びとなったこと、新型コロナウイルスの治療薬やワクチン開発の進捗が投資家心理の改善につながったことなどから豪ドルは円に対し上昇しました。その後も、7-9月期の豪GDP成長率、11月の豪小売売上高など堅調な経済指標や、10月の豪貿易収支で黒字額が市場予想を大幅に上回ったことなどが豪ドルの買い材料となったほか、英国、米国をはじめ一部の国で新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことで経済活動正常化への期待が強まるなか、鉄鉱石をはじめ国際商品価格が堅調に推移したことも支援材料となって、豪ドルは円に対し概ね上昇基調で推移しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首 $\Delta 0.09\%$ に対し、作成期末も $\Delta 0.09\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

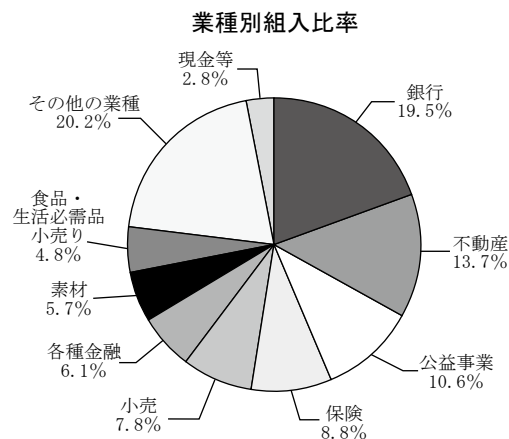
【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプションα戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプションα戦略」を組合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンドの組入状況＞
2020年12月30日現在（現地基準）



組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	5.6%
2	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	5.3
3	BHP GROUP LTD	素材	5.2
4	STOCKLAND	不動産	4.4
5	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	銀行	4.4
6	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	4.0
7	SCENTRE GROUP	不動産	3.5
8	AGL ENERGY LTD	公益事業	3.4
9	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	3.2
10	WESTPAC BANKING CORP	銀行	3.0

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第95期から第96期まで各35円、第97期から第100期まで各25円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T & Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション α 戦略」および「為替オプション α 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

【T & Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2020年 7 月 28 日から 2021 年 1 月 25 日まで)

費用の明細

項目	第95期～第100期		項目の概要
	2020/7/28～2021/1/25		
	金額	比率	
平均基準価額	1,308円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	10円 (4) (6) (0)	0.729% (0.274) (0.439) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.039 (0.039)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	11	0.776	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

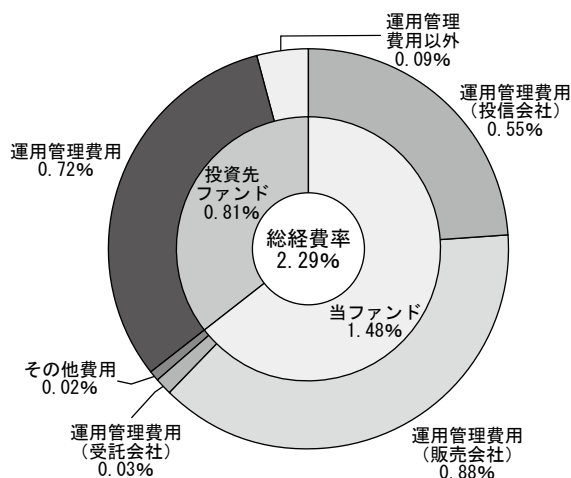
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.29%です。



総経費率 (①+②+③)	2.29%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2020年7月28日から2021年1月25日まで)

(1) 投資信託証券

		第 95 期 ~ 第 100 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 33,468	千円 41,000	口 309,205	千円 391,819

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2020年7月28日から2021年1月25日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2021年1月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第94期末)	当 作 成 期 末 (第 100 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン α ファンド	口 2,490,925	口 2,215,188	千円 2,960,643	% 98.8

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 94 期 末)	当 作 成 期 末 (第 100 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 13,070	千口 13,070	千円 13,266

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は424,074千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年1月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 100 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン α ファンド	千円 2,960,643	% 96.6
T & D マネープールマザーファンド	13,266	0.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	91,303	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	3,065,212	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月25日現在 2020年9月25日現在 2020年10月26日現在 2020年11月25日現在 2020年12月25日現在 2021年1月25日現在

項目	第95期末	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末
(A) 資産	3,298,110,009円	3,009,815,341円	3,104,560,648円	3,132,883,155円	3,017,280,033円	3,065,212,485円
コール・ローン等	154,472,118	128,343,320	107,283,390	79,914,308	89,910,590	91,303,248
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	3,130,367,865	2,868,203,302	2,984,008,539	3,039,701,435	2,914,102,031	2,960,643,132
T&Dマネーブルーマザーファンド(評価額)	13,270,026	13,268,719	13,268,719	13,267,412	13,267,412	13,266,105
(B) 負債	127,632,416	108,355,852	94,347,480	62,442,389	70,228,664	67,130,701
未払金	-	16,000,000	25,000,000	-	-	-
未払収益分配金	84,511,068	83,289,502	59,245,374	56,263,791	54,748,332	54,885,694
未払解約金	39,349,179	5,163,167	6,320,423	2,535,159	11,755,939	8,485,309
未払信託報酬	3,732,589	3,862,311	3,742,114	3,605,356	3,685,459	3,720,396
未払利息	301	228	188	142	151	148
その他未払費用	39,279	40,644	39,381	37,941	38,783	39,154
(C) 純資産総額(A-B)	3,170,477,593	2,901,459,489	3,010,213,168	3,070,440,766	2,947,051,369	2,998,081,784
元本	24,146,019,438	23,797,000,670	23,698,149,986	22,505,516,772	21,899,333,176	21,954,277,888
次期繰越損益金	△20,975,541,845	△20,895,541,181	△20,687,936,818	△19,435,076,006	△18,952,281,807	△18,956,196,104
(D) 受益権総口数	24,146,019,438口	23,797,000,670口	23,698,149,986口	22,505,516,772口	21,899,333,176口	21,954,277,888口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,313円	1,219円	1,270円	1,364円	1,346円	1,366円

(注) 当ファンドの第95期首元本額は24,460,124,379円、第95～100期中追加設定元本額は1,903,728,926円、第95～100期中一部解約元本額は4,409,575,417円です。

(注) 元本の欠損

第100期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は18,956,196,104円です。

(注) 第100期末の1口当たり純資産額は0.1366円です。

損益の状況

自2020年7月28日 自2020年8月26日 自2020年9月26日 自2020年10月27日 自2020年11月26日 自2020年12月26日
至2020年8月25日 至2020年9月25日 至2020年10月26日 至2020年11月25日 至2020年12月25日 至2021年1月25日

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
(A) 配当等収益	82,930,449円	81,711,424円	59,643,417円	57,376,400円	55,491,015円	55,136,707円
受取配当金	82,933,846	81,714,365	59,646,064	57,378,650	55,493,151	55,139,027
支払利息	△ 3,397	△ 2,941	△ 2,647	△ 2,250	△ 2,136	△ 2,320
(B) 有価証券売買損益	△ 11,319,918	△ 217,087,077	121,656,706	214,136,363	△ 37,763,354	46,395,984
売買利益	1,005,554	1,147,870	123,686,820	219,115,122	705,695	46,552,024
売買損	△ 12,325,472	△ 218,234,947	△ 2,030,114	△ 4,978,759	△ 38,469,049	△ 156,040
(C) 信託報酬等	△ 3,771,868	△ 3,902,955	△ 3,781,495	△ 3,643,297	△ 3,724,242	△ 3,759,550
(D) 当期損益金(A+B+C)	67,838,663	△ 139,278,608	177,518,628	267,869,466	14,003,419	97,773,141
(E) 前期繰越損益金	△ 9,445,718,870	△ 9,152,791,903	△ 9,149,426,212	△ 8,534,192,924	△ 8,032,473,212	△ 7,979,915,005
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△11,513,150,570 (2,776,260,523)	△11,520,181,168 (2,731,617,488)	△11,656,783,860 (2,715,492,867)	△11,112,488,757 (2,578,064,421)	△10,879,063,682 (2,508,881,325)	△11,019,168,546 (2,512,889,296)
(G) 合計(D+E+F)	△20,891,030,777 (△14,289,411,093)	△20,812,251,679 (△14,251,798,656)	△20,628,691,444 (△14,372,276,727)	△19,378,812,215 (△13,690,553,178)	△18,897,533,475 (△13,387,945,007)	△18,901,310,410 (△13,532,057,842)
(H) 収益分配金	△ 84,511,068	△ 83,289,502	△ 59,245,374	△ 56,263,791	△ 54,748,332	△ 54,885,694
次期繰越損益金(G+H)	△20,975,541,845	△20,895,541,181	△20,687,936,818	△19,435,076,006	△18,952,281,807	△18,956,196,104
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△11,518,503,057 (2,770,908,036)	△11,525,662,201 (2,726,136,455)	△11,629,629,929 (2,714,646,798)	△11,112,488,757 (2,578,064,421)	△10,881,708,736 (2,506,236,271)	△11,020,958,969 (2,511,098,873)
(I) 分配準備積立金 (売買損益相当額)	△(14,289,411,093)	△(14,251,798,656)	△(14,372,276,727)	△(13,690,553,178)	△(13,387,945,007)	△(13,532,057,842)
繰越損益金	△ 9,457,038,788	△ 9,369,878,980	△ 9,030,306,889	△ 8,322,930,029	△ 8,070,573,071	△ 7,935,237,135

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第95期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（79,158,581円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,776,260,523円）より、分配対象収益は2,855,419,104円（1万口当たり1,182円）であり、うち84,511,068円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

【第96期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（77,808,469円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,731,617,488円）より、分配対象収益は2,809,425,957円（1万口当たり1,180円）であり、うち83,289,502円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

【第97期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（58,399,305円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,715,492,867円）より、分配対象収益は2,773,892,172円（1万口当たり1,170円）であり、うち59,245,374円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第98期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（56,606,571円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,578,064,421円）より、分配対象収益は2,634,670,992円（1万口当たり1,170円）であり、うち56,263,791円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第99期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（51,766,773円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（2,508,881,325円）および分配準備積立金（336,505円）より、分配対象収益は2,560,984,603円（1万口当たり1,169円）であり、うち54,748,332円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

【第100期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（53,095,271円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,512,889,296円）より、分配対象収益は2,565,984,567円（1万口当たり1,168円）であり、うち54,885,694円（1万口当たり25円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2020年7月28日 ～2020年8月25日	2020年8月26日 ～2020年9月25日	2020年9月26日 ～2020年10月26日	2020年10月27日 ～2020年11月25日	2020年11月26日 ～2020年12月25日	2020年12月26日 ～2021年1月25日
当期分配金	35	35	25	25	25	25
（対基準価額比率）	2.596	2.791	1.931	1.800	1.823	1.797
当期の収益	32	32	24	25	23	24
当期の収益以外	2	2	0	—	1	0
翌期繰越分配対象額	1,147	1,145	1,145	1,145	1,144	1,143

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p>[高配当株投資]</p> <ul style="list-style-type: none"> 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 <p>[株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略]</p> <ul style="list-style-type: none"> スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。 スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。 <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用）</p> <p>※レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2019年2月1日～2020年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	282,009,837
スワップ取引に係る収益・費用	(29,092,276)
投資に係る純損益	267,395,188
投資純損益	520,312,749
その他収益	1,907,633
外国為替取引に係る純損益	(16,116,803)
収益合計	506,103,579

費用

投資顧問料	27,739,055
その他費用	4,893,738
取引手数料	1,907,633
管理・保管費用	11,038,827
事務代行手数料	1,395,754
運用報酬	540,481
運用費用合計	47,515,488
税引前損益	458,588,091
源泉徴収税	(9,460,109)
期中の純資産変動	449,127,982

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2020年1月31日

1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
AUST AND NZ BANKING GROUP	131,899		246,437,328	銀行
WESTPAC BANKING CORP	93,043		169,586,429	銀行
TELSTRA CORP LTD	757,846		211,154,306	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	64,122		48,433,465	銀行
AUSNET SERVICES	491,972		63,183,169	公益事業
MEDIBANK PRIVATE LTD	259,338		58,333,174	保険
AGL ENERGY LTD	158,383		229,265,771	公益事業
VICINITY CENTRES	657,315		121,142,077	不動産
VIVA ENERGY GROUP LTD	625,607		78,076,044	エネルギー
COLES GROUP LTD	73,417		88,162,193	食品・生活必需品小売り
INGHAMS GROUP LTD	126,389		32,463,870	食品・飲料・タバコ
COCA-COLA AMATIL LTD	169,607		147,430,842	食品・飲料・タバコ
ASX LTD	13,708		85,210,010	各種金融
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	302,319		92,788,374	小売
TRANSURBAN GROUP	105,910		120,649,180	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	34,862		215,667,836	銀行
BORAL LTD	125,475		45,339,247	素材
CHARTER HALL RETAIL REIT	81,880		27,982,499	不動産
APA GROUP	164,844		135,516,073	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	196,281		100,832,207	保険
FLIGHT CENTRE TRAVEL GROUP LTD	6,430		18,340,103	消費者サービス
G. U. D. HOLDINGS LTD	7,225		6,301,299	自動車・自動車部品
GPT GROUP	147,184		64,076,622	不動産
GWA GROUP LTD	104,257		27,081,705	資本財
SUNCORP GROUP LTD	121,023		112,926,700	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	94,520		177,353,592	銀行
JB HI-FI LTD	61,963		178,308,851	小売
IOOF HOLDINGS LTD	213,888		122,758,241	各種金融
QBE INSURANCE GROUP LTD	31,279		31,206,374	保険
STOCKLAND	607,753		216,960,148	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	390,111		132,754,360	消費者サービス
WESFARMERS LTD	39,499		129,571,165	小売
WOODSIDE PETROLEUM LTD	80,380		202,553,867	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	30,248		91,828,205	食品・生活必需品小売り
DEXUS	20,136		18,584,380	不動産
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	541,923		86,506,356	公益事業
MACQUARIE GROUP LTD	4,671		49,065,496	各種金融
G8 EDUCATION LTD	237,236		32,963,789	消費者サービス
SYDNEY AIRPORT	211,556		128,787,900	運輸
AURIZON HOLDINGS LTD	195,101		76,585,141	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	133,595		28,014,044	不動産
WPP AUNZ LTD	142,638		6,002,760	メディア・娯楽
STAR ENTERTAINMENT GROUP LTD	255,914		77,617,220	消費者サービス
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDINGS	853,103		116,062,119	メディア・娯楽
SCENTRE GROUP	551,504		154,462,737	不動産
合計			4,604,327,268	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含みます。

2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
4,666,073,502	(55,092,330)

(注) () 書きは負数です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第32期（決算日 2020年12月10日）
（計算期間 2020年6月11日から2020年12月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2020年12月10日に第32期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率 %			
28期（2018年12月10日）	10,165	△0.0	—	—	百万円 701
29期（2019年6月10日）	10,161	△0.0	—	—	652
30期（2019年12月10日）	10,158	△0.0	—	—	733
31期（2020年6月10日）	10,154	△0.0	—	—	575
32期（2020年12月10日）	10,151	△0.0	—	—	430

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債券組入比率 %	債券先物比率 %
期首 (前期末) 2020年6月10日	10,154	—	—	—
6月末	10,154	0.0	—	—
7月末	10,153	△0.0	—	—
8月末	10,153	△0.0	—	—
9月末	10,152	△0.0	—	—
10月末	10,152	△0.0	—	—
11月末	10,151	△0.0	—	—
期 末 2020年12月10日	10,151	△0.0	—	—

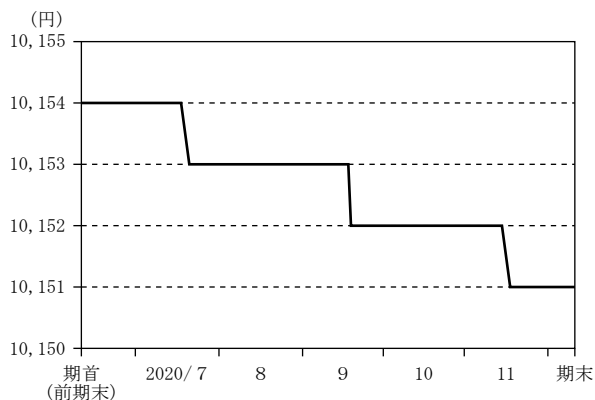
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,154円から期末は10,151円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の△0.11%から期末は△0.09%となりました。期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年12月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 430,478	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	430,478	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	430,478,944円
コール・ローン等	430,478,944
(B) 負 債	754
未 払 利 息	754
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	430,478,190
元 本	424,071,260
次 期 繰 越 損 益 金	6,406,930
(D) 受 益 権 総 口 数	424,071,260口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,151円

(注) 期首元本額 567,176,513円
 期中追加設定元本額 3,600,552円
 期中一部解約元本額 146,705,805円

(注) 1口当たり純資産額は1,0151円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&Dインド中小型株ファンド	69,040,591円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース	1,653,709円
米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース	57,394,392円
米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース	88,475円
豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型)	13,070,055円
野村エマーゼンシング債券投信 (円コース) 毎月分配型	15,203,451円
野村エマーゼンシング債券投信 (円コース) 年2回決算型	4,690,232円
野村エマーゼンシング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型	6,884,550円
野村エマーゼンシング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型	1,424,313円
野村エマーゼンシング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型	13,394,468円
野村エマーゼンシング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型	1,651,239円
野村エマーゼンシング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型	124,252,174円
野村エマーゼンシング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型	7,765,966円
野村エマーゼンシング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型	1,413,489円
野村エマーゼンシング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型	131,726円
野村エマーゼンシング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型	1,038,862円
野村エマーゼンシング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型	160,506円
野村エマーゼンシング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型	43,012,339円
野村エマーゼンシング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型	7,932,323円
野村エマーゼンシング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型	33,235,413円
野村エマーゼンシング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型	4,042,047円
野村エマーゼンシング債券投信 (金コース) 毎月分配型	10,580,958円
野村エマーゼンシング債券投信 (金コース) 年2回決算型	5,829,793円
野村エマーゼンシング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型	180,189円

損益の状況

当期 自2020年6月11日 至2020年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 150,875円
支 払 利 息	△ 150,875
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 150,875
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	8,746,552
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	55,448
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 2,244,195
(F) 合 計 (B+C+D+E)	6,406,930
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	6,406,930

(注) 損益の状況の中で

(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。